

「新しい形のコミュニティづくり～地域でつながる～」解決策検討シート

No.	解決のアイデア	具体的な取組	実施時期	主な担い手とその役割	区民会議が果たす役割	行政の支援内容	実施に向けた課題
1	<ul style="list-style-type: none"> ●集まりやすい地域の場所として「公園」を活用する ●公園を活用する人同士の交流の場をつくる 	<p>区が実施する「公園を活用した地域コミュニティ活性化事業」と連携して、交流の場づくりや公園活用のモデル事業を行う。 →資料4</p>	平成23年度中に着手	<p>公園活用に関わりのある団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ●かわさき遊び場ネット ●公園管理運営協議会 ●公園体操実施団体 ●町内会自治会 等 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の運営方法（実施組織等）に関する提言とコーディネート ●事業運営組織への参加 ●モデル事業に関するアイデア出し 	<ul style="list-style-type: none"> ●課を超えた横断的な検討プロジェクト（企画課・こども支援室・地域保健福祉課・道路公園センター）の組織 ●事業の主催（区民協働の手法で実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い参加者・協力者を得るための運営組織づくり ●モデル事業を一時的なものではなく、地域で根付かせるための仕掛けづくり ●周辺住民も含めた合意形成の手法 ●公園の実態把握
2	<p>学校施設（体育館・校庭）の「自由解放日（地域の日）」を年に一度設けて、スポーツを通じた交流の場とする。</p>	<p>モデル校において「地域の日」を年1回設定する。サッカー・野球等の講師を招き、クラブチームに所属しない子どもが参加できる催しを開催する。</p>	平成23年度中に着手	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会自治会 ●子ども会 ●PTA ●体育指導員会 ●学校 ●学校施設開放運営委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラン（案）に関する提言 ●モデル地区の検討とコーディネート 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校施設開放に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●モデル地区の選定 ●「地域の日」の運営主体 ●事故等に係る責任の所在
3	<p>町会組織加入に向けたアプローチ</p>	<p>自治会が組織されていない大規模マンションをターゲットに、自治会の立ち上げ方法に関する講座等を企画実施する。 防災を切り口に町会組織の意義を伝えていく。</p>	平成23年度中に着手	<ul style="list-style-type: none"> ●区全町内会連合会 	<ul style="list-style-type: none"> ●講座の企画、実施のためのコーディネーター ●連合町内会への投げかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模マンションの建設や自治会組織状況に関する情報の把握 ●地域コミュニティ施策推進事業として、区民会議の議論を具体化（連合町内会と連携して実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ●マンション（開発業者）側への企画提案方法 ●自治会組織の必要性をどのように訴えるか ●マンション住人側の自発性をどう引き出すか
4							
5							